日本工学院八王子専門学校 開講年度		2019年度(平成31年度)		科目名	総合実習3			
科目基礎情報								
開設学科	プロダクトデザイン科		コース名				開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	60時間	
単位数	2単位		授業形態	実習				
教科書/教材	課題毎に資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。							
担当教員情報								
担当教員	長沼みか				実務経験の有	実務経験の有無・職種 有・インテリアデザイナー		リアデザイナー

学習目的

デザインは「人に伝えるものをつくる」ことが重要である。この課題では作品展へ出展するための作品を制作し人に意図が伝わる見せ方や伝え方を身に付ける。また、作品制作におけるクオリティの維持、スケジュール管理等自らのマネジメント能力を高めることがねらいである。

到達目標

作品展示に対してのスケジュール管理、展示計画、展示作品制作、展示ボード作成など総合的に行い、一連の業務が出来るようになる。

教育方法等

授業概要

前期のまとめとして作品を制作する科目である。前期制作分の作品展示会のための計画、制作、設営までの流れを行う。この授業では個人ワーク主体で課題制作を行い、設営の際はグループや教員とのコミュニケーションにより会場全体の運営まで携わることにより自身の役割の責任を全うすることを目標とする。

注意点

遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自発的に資料を教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは、質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることが出来ない。

	種別	割合	備 考
評	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する
価	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する
方	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する
法	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画(1回~15回)

~~~~~ ·			
□	授業内容	各回の到達目標	
1 🗓	ガイダンス	展示会の重要性を理解し、自分の役割を自覚する	
2 🗓	課題制作	自分の作品を振り返り、反省点を見つけることが出来るようになる	
3 🗓	課題制作	編成を踏まえ、ブラッシュアップの計画を建てることが出来るようになる	
4 回	課題制作	計画をもとにブラッシュアップの素材を収集することが出来るようになる	
5 🗓	課題制作	計画をもとに作品のブラッシュアップが出来るようになる	
6 回	課題制作	展示会に向けて、過去作品のブラッシュアップ・完成度を高める事が出来るようになる	
7回	課題制作	展示会に向けて、過去作品のブラッシュアップ・完成度を高める事が出来るようになる	
8 💷	課題制作	展示会に向けて、過去作品のブラッシュアップ・完成度を高める事が出来るようになる	
9 🗓	課題制作	展示プレゼンテーション用ボードに適した内容を改めて検証・修正する事が出来るようになる	
10回	課題制作	展示プレゼンテーション用ボードに適した大きさで画像をレイアウトする事が出来るようになる	
110	課題制作	展示プレゼンテーション用ボードに適したレイアウトでアレンジする事が出来るようになる	
12回	課題制作	展示プレゼンテーション用ボードに適したフォントでアレンジする事が出来るようになる	
13回	課題制作	作成したデータを大判プリントアウトする事が出来るようになる	
14回	課題制作	大型パネルボードにプリントアウトしたものを美しく貼り込む事が出来るようになる	
15回	まとめ	展示会場での設営 展示準備が出来るようになる	